

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、4日、5日、6日の3日間、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



「子育て」支援情報 発信の強化を!

菅本 英輔（新しき）

今回の主なテーマ

- ▶子育てガイドブックの充実
- ▶利用者側の視点を組み込む
- ▶全庁的／協働の取り組みを

◆充実した子育て支援情報を!!

- ①子育て支援のために行っている情報提供の取り組みは、現在どのようなものがあるか。
 - ②今後、充実させていくべきと考える情報提供はどのようなものか。
 - ③市民目線で、保護者が必要とする情報を発信するために市民と協働してガイドブックを作成することが必要と考えるが、見解は。
- 福祉こども部長** ①広報さやまやホームページ、さやマルシェで情報を提供している。また、総合子育て支援センターでもパンフレットやイベント情報を掲載したちやっぼ通信を発行しているほか、情報の収集、発信に取り組んでいる。さらに、主に乳幼児の子育て情報を掲載した、子育てガイドブックを配布している。

- ②幼稚園や保育園の情報、子育て中の親子が集える場の情報などが多く求められており、これらの情報を電子媒体や紙媒体など、さまざまな手段を活用して、必要な方に必要なときに届くことが重要と考える。
- ③総合子育て支援センターの利用者やボランティア、子育て支援団体などに、ガイドブックに求められる情報などを収集していただき、また希望する方には、ガイドブックの作成にも携わっていただき、市民と市が協働して作成していくことが重要であると考えている。



自転車、歩行者に 安全な道路整備を

大島 政教（無所属）

今回の主なテーマ

- ▶自転車の普及と安全な利用
- ▶保育待機児童ゼロをめざして
- ▶祇園保育所の安心の保育

◆自転車の普及と安全な利用

自転車は、5 km程度の短距離の移動では、鉄道や自動車よりも所要時間が短く都市交通として最も効率的な手段といわれている。狭山市の都市交通における自転車の位置付け、道路交通法の改正点を市長と担当部長に伺う。

市長 これまで、市では放置自転車対策や自転車マナーアップなどに対応し相当の効果をj得ている。近年、自転車が起因の事故が多発し、今般道路交通法の改正も行われたが、本市の道路環境などを踏まえると難しい問題も多々あるため、現時点では都市交通への位置づけはしていない。

市民部長 自転車に関する道路交通法の改正点は、自転車などの軽車両が路側帯を通行する場

合の通行区分が、自動車や原動機付自転車と同じ方向である左側通行に限定されたこと。また、制動装置の点検などに関する規定が新たに設けられ、警察官が自転車を停止させブレーキを検査することができ、停止の指示に従わなかったり、検査の拒否や妨害をしたりすると5万円以下の罰則規定が設けられたことである。



いじめのない学校 中央公民館跡地周辺開発

太田 博希（志政会）

今回の主なテーマ

- ▶いじめの実態と今後の対策
- ▶武道館解体工事を行う理由は
- ▶開発は民間力と商業地域化で

◆いじめ「ゼロ」の狭山市を実現するためには

保護者の学びの場をつくり、大人が真剣な姿勢を示して、いじめゼロを目指すべきでは。

学校教育部長 いじめ防止には、地域社会全体で対峙することが重要である。ネットいじめの問題は、スマートフォンなどを子どもに与えている家庭の役割と、また社会全体の問題として地域などにも働きかけ、いじめ防止の機運を高めることも重要。今後、PTA連合会などとの連携を密に、啓発活動などの充実を図っていく。

◆中央公民館跡地周辺は、元気なまちづくりの拠点に

土地利用の方向性や開発手法などをどう考えているのか。

総合政策部長 中央公民館跡地は、駅と商店街を

結ぶ重要な位置にあるため、中心市街地の活性化のため旧中央公民館、旧准看護学校、武道館の一体的な土地活用が図られるよう社会、経済状況や財政状況も踏まえ、民間活力の導入も含め検討していく。開発は全国の実績を参考に、用地の活用方針を定め、その方針のもとに活用方法や活用手法を検討していく。



まちづくりの拠点
中央公民館跡地



市民が安心と プライドを持つまちに

矢馳 一郎（新しき）

今回の主なテーマ

- ▶災害対策法制改正への対応
- ▶シビックプライドの醸成

◆受援・相互応援計画策定の必要性

先行自治体では、他の自治体からの支援の受け入れや他への応援の際、迅速な初動がとれるようマニュアル化している例もある。当市の受援・相互応援計画策定の必要性にかかる見解は。

市民部長 地域防災計画で応援団体ごとの受け入れ施設などを定め、また、他の自治体との相互応援協定では、救援物資の数量、内容、受け入れ場所などを記載しているものもある。計画を作り、手順などをマニュアル化しておくことは、迅速かつ確かな災害対応になるため検討する。

◆シビックプライドが醸成されるまちの実現に向けて

来年度に予定されている次期総合振興計画に

おいて、シビックプライドの概念を取り込んでいく考えはあるか。

総合政策部長 自分が住むまちに誇りや愛着を持ち、そのまちをよりよい場所とする取り組みにみずからかわろうとするシビックプライドの考え方は、今後ますます重要になることである。第4次総合振興計画でも重要な概念と捉え、計画の策定を進めていく。



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧になれる方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313